

MailBase サイバーソリューションズ

Keyレポ

特長	ケーススタディ	スペック	資料ダウンロード	問い合わせ・匿名相談
----	---------	------	----------	------------

もはや「メール監査」なくして
企業の責任は果たせない!
メールアーカイブでリスクに備え、
ユーザーの利便性も向上!
メールアーカイブ・ソリューション「MailBase」

CYBER SECURE
Cyber Solutions
MailBase

掲載日: 2006/10/31 更新日: 2006/11/08

企業規模	大企業・中堅企業 向け
オススメユーザー	日本版SOX法対応や内部統制強化のためにメール監査の基盤を構築したい企業、社員のメールによる情報漏洩を防ぎたい企業
製品形態	ソフトウェア
製品概要	社内外で流通するすべてのメールを安全に保存し、必要時には添付ファイル内も含めた高速な全文検索が行えるメールアーカイブ・ソリューション
価格情報	50アカウント150万円～(税別、年間保守は定価総額の20%)
サポートエリア	全国

バックアップではなく「メールアーカイブ」が求められる理由

昨今、日本版SOX法などのコンプライアンス対応や内部統制への意識の高まりから、「メール監査」の重要性が広く認識されるようになった。取引先との受発注データや社内の業務指示など、メールには企業活動のあらゆる情報が含まれている。それらを適切に保存・管理し、必要なメールをすぐに取り出せるようにしておくことは、**企業のリスク管理として必要不可欠であり、そもそも社会的責任**と言えるだろう。

そこで必要となるメール保存の仕組みが「メールアーカイブ」である。単なる「バックアップ」の場合、バックアップ実行前にサーバから削除されたメールは保存できないが、**メールアーカイブでは、すべての送受信メールをもれなく保存**することができる。保存した膨大なデータから必要なメールを迅速に検索することも可能だ。また、全メールを保存することによって、**社員の情報漏洩を抑制する効果**もある。

MailBaseによる メールアーカイブの メリット

- すべての送受信メールを削除・改ざん不可能な状態で完全に保存可能※
- 問題発生時には、膨大なメールデータから必要な情報を迅速に検索
- メール保存による抑止効果で社員の情報漏洩を防止
- コンプライアンス対応や内部統制強化を支援するメール監査を実現
- 退職者のメールデータ管理で過去の問い合わせにも完全対応

※ストレージの機能を利用

高度な「全メール保存」と「超高速検索」機能を備えたMailBase

今回紹介する「MailBase」は、メール監査に必要とされる各種機能を標準で備えたメールアーカイブ製品だ。開発元のサイバーソリューションズは、メールサーバ製品「CyberMail」及び検索システム「CyberFinder」を提供するベンダであり、その実績ある両製品の技術やノウハウがMailBaseに結集されている。

メール保存については、社外だけでなく社内メールデータの保存にも標準構成で対応。検索についても、添付ファイルまで含めた超高速な全文検索が可能だ。また、Lotus NotesやMicrosoft Exchangeほか、主要なメールサーバのほとんどに対応し、既存のメール資産を無駄にすることなくスムーズに導入できる。

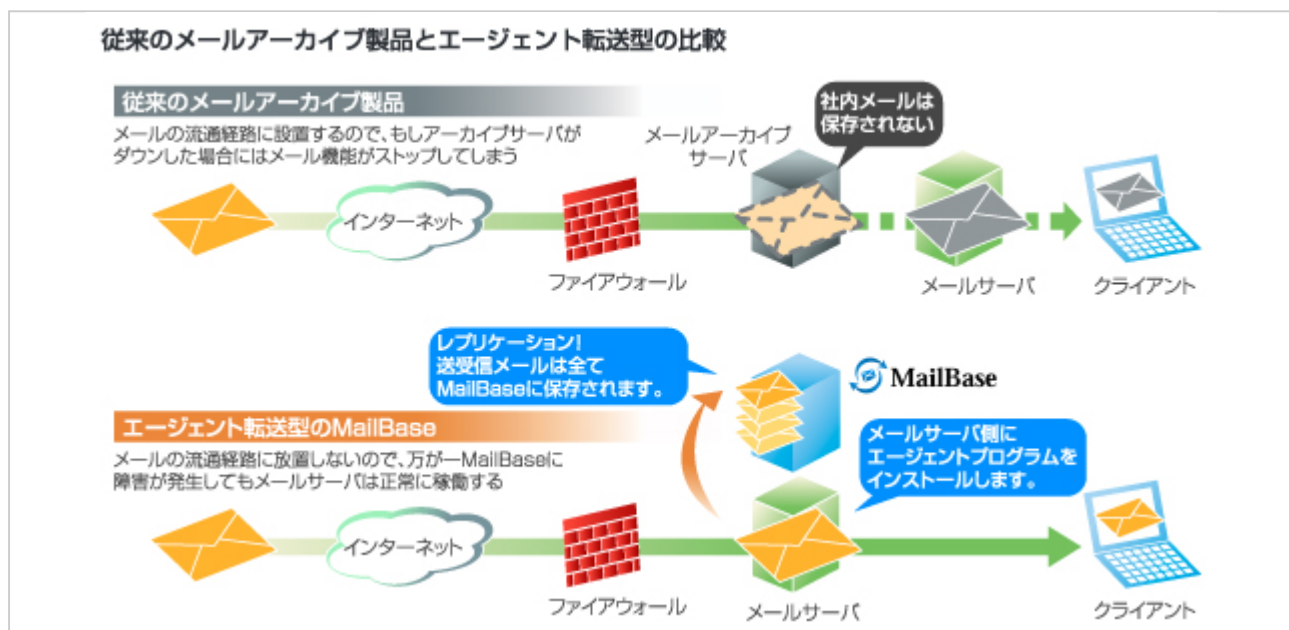
以下では、MailBaseの代表的な特長を、「安全運用」、「経済性」、「簡単運用」の3つの側面から紹介する。

特長

安全運用！ 既存メール環境への影響を抑えた構成で、安全な運用が可能

MailBaseは、メールサーバに専用のエージェントプログラムを配置して、すべての送受信メールデータを転送・レプリケーションするエージェント転送型の仕組みを採用。従来のメールアーカイブ製品のようにメールの流通経路には設置しないので、万一アーカイブサーバに障害が発生してもメールサーバには影響を与えず、より安全に運用できる。

また、全文検索のために必要となるインデックスをリアルタイムで作成できるのも、MailBaseならではの特長だ。このリアルタイム・インデキシングによって、送受信メールをスピーディに検索対象にできることはもちろん、夜間バッチ処理のように負荷が集中することがないので安定稼働の面でもアドバンテージを発揮する。

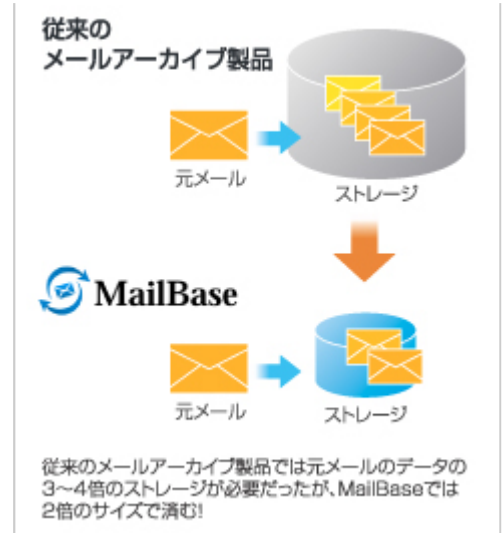


経済的！ 効率のよいインデキシング技術で、ストレージコストを低減

MailBaseは独自のインデキシング技術によって、インデックスファイルのサイズを非常にコンパクトに抑えている。そのため、従来のアーカイブ製品では元のメールデータの3~4倍のストレージサイズが必要となるのに対し、MailBaseなら2倍のサイズで十分。ストレージコストを大幅に低減できる。また、1台のサーバで社外だけでなく社内のメールデータも保存できるので、初期費用やメンテナンス費用の面でもぐっと有利と言えるだろう。

さらに、MailBaseはメール監査への対応だけでなく、ユーザーの利便性向上にも威力を発揮する。ユーザー個人単位でもアーカイブデータから自分

の過去メールを検索できるので、実質的に各ユーザーのメールボックスが無限にあるかのように利用できるのだ。



簡単運用！ シンプルでわかりやすい操作性と高度な検索機能で管理者を支援

MailBaseのデータベースは、メール本体とインデックスデータをセットで管理する。そのため、操作が非常にシンプルでわかりやすい。検索対象の単位変更などもインデックスを作り直す必要がなく、マウント／アンマウントのイメージで容易に管理できる。

また、他製品ではアーカイブ用と検索用のサーバを別々に管理しなければならないケースが多いが、MailBaseでは1台で両方を管理できるので、効率的な運用が可能だ。

メール監査において不可欠の検索機能については、メール本文や添付ファイル、送受信者や関連メールアドレスといったヘッダー情報からの検索にも対応。高速かつ日本語のダブルバイト文字列に強いCyberFinderゆずりの検索機能で、管理者を強力に支援する。

メール検索画面

メール管理画面

識別コード	送受信時刻	データベース作成時刻	メール件数	資料件数	状態	操作
20000301000000	1970/01/01 ~ 1970/01/01	2006/03/01 ~ 2006/03/01	0	0	申込可	取り消し
20000301000019	2005/03/02 ~ 2005/03/01	2005/03/01 ~ 2005/03/01	14	29	申込済み 動作済	取り消す

+拡大

導入事例1

膨大なメールの管理を効率化し、メール監査のための環境を整備

《導入前の課題》

A社では、Notesメールサーバの容量肥大化に対応すべく、ジャーナルサーバで一部バックアップを取り、過去メールは外部媒体で管理していた。しかし、外部媒体からのデータ復元には時間がかかり、運用の負荷も増大していた。また、メールサーバの上位にログ監視のシステムを導入していたが、メール自体が保存されているわけではなく、内容のチェックなども含めた監査に対応できなかった。

《導入後の効果》

そこでA社では、運用コストの見直しも含めて、メールアーカイブシステム導入を検討し、最終的に MailBaseを導入。その結果、必要時にはメール監査が簡単に行える環境が実現。また、過去のメールデータはすべてMailBaseで管理できるため、メールサーバの適正な運用が行えるようになった。

MailBase 導入の決め手

導入コストが低く、高い費用対効果が期待できたこと

運用管理が容易なので、特別なスキルがなくても対応できること

アーカイブも検索も1つのシステムで運用できるため、管理工数を削減できること

導入事例2

個人単位の過去メール利用を実現。私用メールの抑止効果も

《導入前の課題》

B社では、グループウェアのメールサーバを利用していたが、リソース的に過去メールデータを長期間保存することができないため、バックアップを取って管理するものの、基本的に古いメールは削除していた。しかし、バックアップデータからの復元は管理者の負担が大きく、また、すべての過去メールが保存されているわけではないため、過去メールを効率的に管理し、個人単位で柔軟に活用できる対策を検討していた。

《導入後の効果》

そこでB社では、メールアーカイブでの過去メール管理に着目し、既存グループウェアに対応する MailBaseを導入。結果、ユーザー個人単位での過去メール利用が可能となり、調査依頼などによる管理者の作業負担が大幅に軽減された。検索ログによって、ユーザーの利用状況のチェックも可能となった。さらに、私用メールの抑止効果が働き、メールサーバのリソースを必要以上に消費することもなくなった。

MailBase 導入の決め手

既存のグループウェアに対応していたこと

社外だけでなく社内メールのアーカイブが実現できること

個人単位でアーカイブデータから過去メールが利用できること

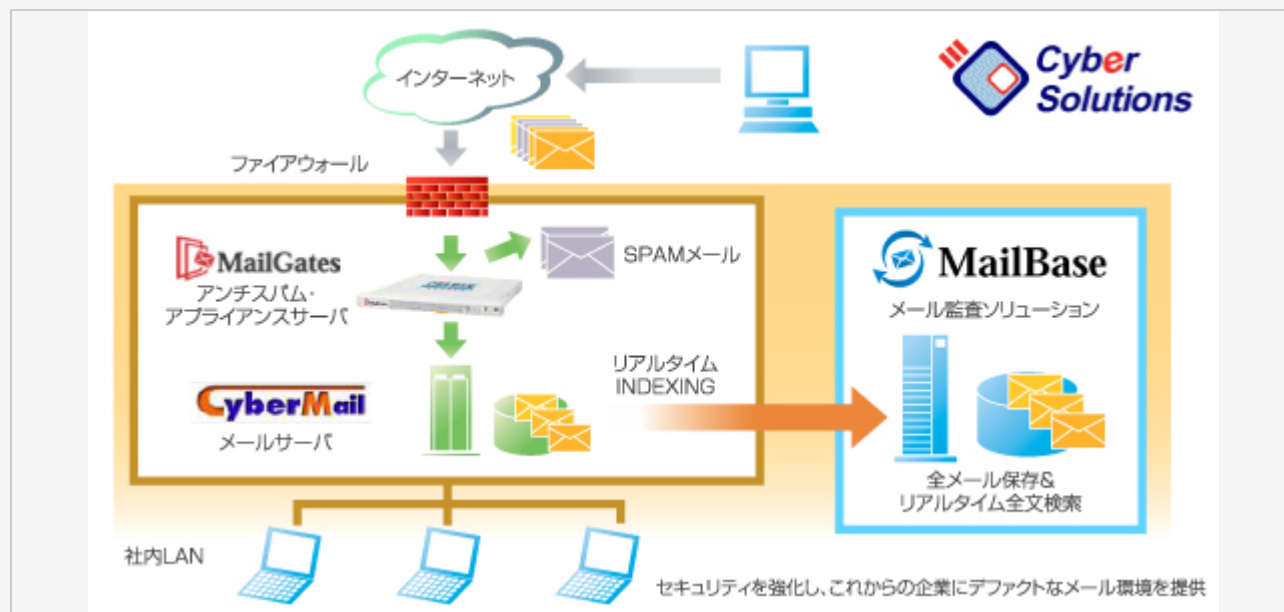
[▲このページの先頭へ](#)

他製品と組み合わせ、より強力なメール環境の構築も可能

MailBaseをサイバースソリューションズの他の製品と組み合わせることによって、さらに理想的な統合メールシステムを構築

することも可能だ。メールサーバの手前で不要なスパムメールを識別・削除するアンチスパム製品「MailGates」があれば、MailBaseでは必要なメールだけを効率的にアーカイブできる。また、高性能Webメールサーバ「CyberMail」は、クライアントPCにデータを残さずにセキュアなWebメール環境を実現する。

なお、MailBaseは今後、ASPサービスによる提供も予定されている。大規模対応のハイスペックなASPメールアーカイブ・サービスとして、近日中にサイバーソリューションズからリリースされる予定だ。



スペック

製品名	MailBase
メーカー	サイバーソリューションズ
クライアント側OS	-
クライアント側対応プロセッサ	-
クライアント側必要メモリ容量	-
クライアント側必要ディスク容量	-
クライアント側その他動作環境	Webブラウザ: Microsoft Internet Explorer 5.0以上
サーバ側OS	Linux(RedHat Enterprise Linux ES/AS 2.1以上)
サーバ側対応プロセッサ	Intel Pentium IV 2.0GHz 以上
サーバ側必要メモリ容量	1GB 以上
サーバ側必要ディスク容量	想定される保存メールサイズの2倍
サーバ側その他動作環境	-
その他特記事項	<p>■エージェント転送対応メールサーバ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CyberMail ・Sendmail ・Postfix(Ver. 2.1～) ・Lotus Notes(Ver.6.x～) ・StarOffice21 ・MS Exchange <p>※各メールサーバの詳細なサポートバージョンについてはお問い合わせください。</p>

価格情報

50アカウント150万円～(税別、年間保守は定価総額の20%)

補足説明

※アカウント数は、管理するメールアカウント数によります。(企業の場合は、社員数)
※アカウント数におけるドメイン数の制限はありません。
※ISP、ASPでのご利用は、別途お問い合わせください。
※学校・教育機関は、30%割引です。(学校・教育機関とは学校教育法に規定された教育機関です)
※ライセンスの追加料は、利用する総アカウント数と当初の価格帯との差額の120%となります。
※冗長化構成の場合は、別途ご相談ください。

サポートエリア

全国

補足説明

—

[▲このページの先頭へ](#)

資料ダウンロード

PDFの資料をダウンロードいただけます。

■Mail Base 製品資料

資料ダウンロード

ファイル形式:PDFファイル / ファイル容量 1.6MB

※ダウンロードされると、掲載企業にあなたの[ニックネーム]、[従業員規模]、[業種]、[所在地域]の情報が送信されます。個人を特定するような情報は送信されません。あらかじめご了承下さい。

[▲このページの先頭へ](#)

製品・サービスの取扱い企業

サイバーソリューションズ株式会社

住所: 〒104-0033 東京都中央区新川2-20-7 TOKOH BLDG

TEL: 03-5542-2710

FAX: 03-5542-2711

e-mail: sales@cybersolutions.co.jp

URL: <http://www.cybersolutions.co.jp/>

備考: 製品サイトURL: <http://cybersecure.jp/14/21/>

取扱い企業一覧

<http://www.cybersolutions.co.jp/21/25/>

掲載企業

サイバーソリューションズ株式会社

住所: 〒104-0033 東京都中央区新川2-20-7 TOKOH BLDG

TEL: 03-5542-2710

FAX: 03-5542-2711

e-mail: sales@cybersolutions.co.jp

URL: <http://www.cybersolutions.co.jp/>

